

## 厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

「 HIV 感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制に関する研究」

平成 29 年度 分担研究報告書

【研究分担課題名】日本在住 MSM の PrEP（曝露前予防）に関する意識や行動に関する研究

研究分担者：生島 嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京・代表）

研究協力者：山口正純（武南病院、ぷれいす東京）、三輪岳史（ぷれいす東京）

### 研究要旨

研究要旨：わが国の MSM における PrEP に関する認知度、ニーズを調査するため、MSM 向けインターネットサイトを介して大規模調査を実施する。また国内の MSM に訴求性の高い PrEP 啓発資料を参考として調査収集する。また利用者が受け入れ可能な費用負担額を調べることにより、わが国で PrEP を導入した場合の費用対効果の分析に資する知見を得る。

### A．研究目的

近年 PrEP による HIV 感染予防の有効性を示す研究データが海外で数多く発表され、各国において PrEP プログラムを導入する動きが相次いでいる。しかしながら性的文化や性行動は各国・各対象層ごとに多様であり、その文脈を踏まえた上で、PrEP プログラムを導入することが求められる。それに先立ち、本分担研究では、日本の MSM コミュニティを対象とした PrEP の認知度、利用意向性、懸念事項等に関する意識調査を実施し、わが国の MSM コミュニティで PrEP プログラムを導入するにあたり必要となる医療サービスの提供体制や、医療・カウンセリング等の提供に必要な人的資源、コミュニティに訴求性の高い啓発資料等に関するニーズを明らかにすることを目的とする。また、わが国で PrEP プログラムを実施した場合の費用対効果の分析に資する資料とする。

### B．研究方法

海外のガイドラインや文献などのレビューを行い、これまでに国内外で実施された PrEP の認知度、利用意向、受け入れ可能な費用負担額等に関する研究を調査し、次年度実施予定の大規模インターネット調査の質問票作成の参考とする。次年度には MSM を対象に、PrEP に関する認知度、ニーズ、意識や行動に関する大規模インターネット調査を実施し、最終年度には得られたデータの解析をする予定である。

### C．研究結果

米国、英国、オーストラリア、台湾など、既に海外で先行している国々のガイドラインを収集した。これまでに国内外で実施された PrEP の認知度、利用意向等に関する研究報告等を文献検索した。また 2017 年 7 月に WHO が発行した PrEP 実施のためのツールキット（WHO implementation tool for pre-exposure prophylaxis of HIV infection）を参考とし、また海外の取り組み事例、研究報告などの文献検索を行うなど、次年度実施予定の大規模インターネット調査に向けて質問紙の作成準備を行っている。

### D．考察

日本における PrEP に関する認知度、ニーズを明らかにするために、次年度には国内の MSM を対象にインターネットを介した大規模調査を実施する予定である。これにより医療施設へのアクセス、費用負担等の諸条件を明らかにし、PrEP に関して実現可能で受け入れ可能なサービス提供体制について検討する予定である。

### E．結論

わが国の MSM コミュニティを対象としたニーズ調査を実施することは、PrEP の実現可能性、利用可能性、費用負担可能性等を検討するために極めて重要であり、今後わが国への PrEP プログラムの導入を検討するために必要不可欠である。

G．研究発表、H．知的財産権の出願・登録状況なし